「学ぶ 鍛える 高め合う」
～自ら学び共に生きる生徒の育成～

大仙市立大曲西中学校

令和4年９月20日
文責：西鳥羽　裕

小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道

【イチロー】

15日に、前期の学習成果を確認する期末テストが行われました。子どもたちは、この日のために２週間前に作成した学習計画に沿って、復習を重ねてきました。私は週一回各学年の家庭学習ノートを点検していますが、この２週間は、今まで以上に力が入っているように感じました。しかし、中には毎日同じような内容であったり、丸つけをせずに誤りを直していなかったりするノートも見受けられます。不確かなことや、できなかったことが確実にできるようになるのが学習です。イチローの言葉のように、毎日の小さな積み重ねなくして、大きな成果は望めません。「継続は力なり」とも言います。テストには、高校入試を含めた今後の学習につながる大切な事柄が出題されています。テスト後の見直しにも力を注ぎ、日々の取組が充実したものになるように、保護者の皆様とともに支援していきたいと考えております。

Hop step jump! New challenge and best action でみんなをエガオに

10月９日（日）の西中祭に向けて、12日に西中祭集会を実施しました。体育館に全員がタブレット端末を持参して、各部門の内容を確認し、その後学級で各自の所属部門を決定しました。西中祭まで一ヶ月を切りました。その間、新人戦等の大きな行事もあり、諸活動と並行して取り組むことになります。今年の西中祭は、午前中のみの公開で、ステージ発表の他、学習や部活動等の展示、オリジナルグッズの販売等を予定しています。生徒は、ご来場くださるご家族の皆さんに感謝の気持ちを込めて精一杯のおもてなしができるようにと励んでいます。限られた時間の中で、全校生徒一人一人の知恵と汗を結集した準備作業が進められています。

12日、本校4期生の代表の方々が来校し、後輩たちへの激励として、体育文化振興後援会に６万円近いお金を寄付していただきました。現在の３年生が65期生なので、約60年の先輩となります。大川西根中学校と内小友中学校が統合して、初めて同じ校舎で過ごした学年になるそうです（新校舎ができるまでは、旧中学校の校舎で過ごしていました）。新校舎は、モダンな作りで、２階には廊下がなく､ベランダを通って行き来していたそうですが､冬は雪がたまり雪寄せに汗したことや、現在のグラウンドが大きな石だらけで、石の撤去作業で難儀したことなどを教えていただきました。その後、現在の校舎に建て替えられてはいますが、本校の環境や風土は、たくさんの先輩方の尽力があってこそであると改めて感じました。

ありがとうございました。

台風14号の接近に伴う、登校時のご協力に感謝申し上げます。保護者の皆様のご協力により、今朝、安全にそしてスムーズに登校が完了いたしました。